



# 9月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和3年8月26日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」  
自ら学ぶ子・人とつながる子  
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子  
<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



## 諦めなければ、夢はかなう

40日間の夏休みが終了し、子どもたちが、元気な「おはようございます」の声とともに学校に戻ってきました。はにかむ笑顔に出会えたことが何よりうれしいです。夏休みの間、猛暑、大雨、新型コロナウイルス感染拡大と、災害または災害級の状況に次々に見舞われました。被害にあわれた皆様にお見舞い申しあげます。また、このように大変な状況の中、子どもたちの健康管理にご留意いただき、見守っていただいた保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

さて、この夏休みの間に東京オリンピックが行われ、24日からはパラリンピックが始まりました。今日もパラアスリートたちがそれぞれの持てる力を発揮して、私たちに熱い思いを抱かせてくれています。先に閉幕したオリンピックでの選手たちの活躍は、私たちに明るい話題をもたらし、感動を与えてくれました。

今、予測困難な時代と言われています。私たちは、この目まぐるしく変化する社会を生き、その創り手として活躍する子どもたちを育てていく必要がありますが、今回のオリンピックの選手たちから、学ぶことがあると感じました。彼らは、まさに新型コロナウイルスによる練習環境の劇的な変化、そして、オリンピックが開催されるのかどうかも直前まで分からない状況を乗り越え、さらに前へと進み、精いっぱいその努力の成果を発揮していました。その強い力をどのようにして身に付けてきたのでしょうか。

ソフトボールの上野選手が「諦めなければ、夢はかなう」と話しているのを聞きました。自分が目指すもの「夢」を持つこと、その夢に向かって諦めないことが大事なのでしょう。そのためには、まず自分を信じ、粘り強く取り組む。すると、それが自分を肯定することにつながり、さらに自信となって粘り強くがんばれる。この繰り返しこそが諦めない強い力になり、夢をかなえることになるのではないのでしょうか。私たち教職員は、子どもたち一人一人に、自分のよさを見つけ、それを信じて粘り強く自分の希望や課題に取り組み、「夢」をかなえる力を付けていきたいと考えています。そのためには、子どもたちに関わるすべての大人が子どもたちを愛情と信頼と期待を持って包み込み、子どもたちが「包み込まれている」という感覚を持てるようにすることが必要です。教職員一同、子どもたちを温かく、時には厳しく、保護者の皆様、地域の皆様とともに育んでいきたいと思えます。2学期も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、できる限りの対策を取り、教育活動を進めていきます。これまで同様、子どもたちの見守り、ご協力、ご支援をよろしくお願いします。



校長 小森昌子

今年度当初から GIGA スクール構想に基づき、1人1台のタブレット端末を活用しながら、学習を進めていますが、子どもたちが操作に慣れ、授業中にも熱心に取り組む姿には驚くとともに感じています。子どもたちが社会に出る約10年後には、社会は大きく変化していると思われまます。その社会を主体的に生きていく力を付けていくために、10月頃を目途に、学校だけでなく、各家庭にタブレットを持ち帰り、学習ができるよう準備を進めていきます。後日、持ち帰りに向けた文書を配布します。Wi-Fi 接続や使うときの約束など、保護者の皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



